

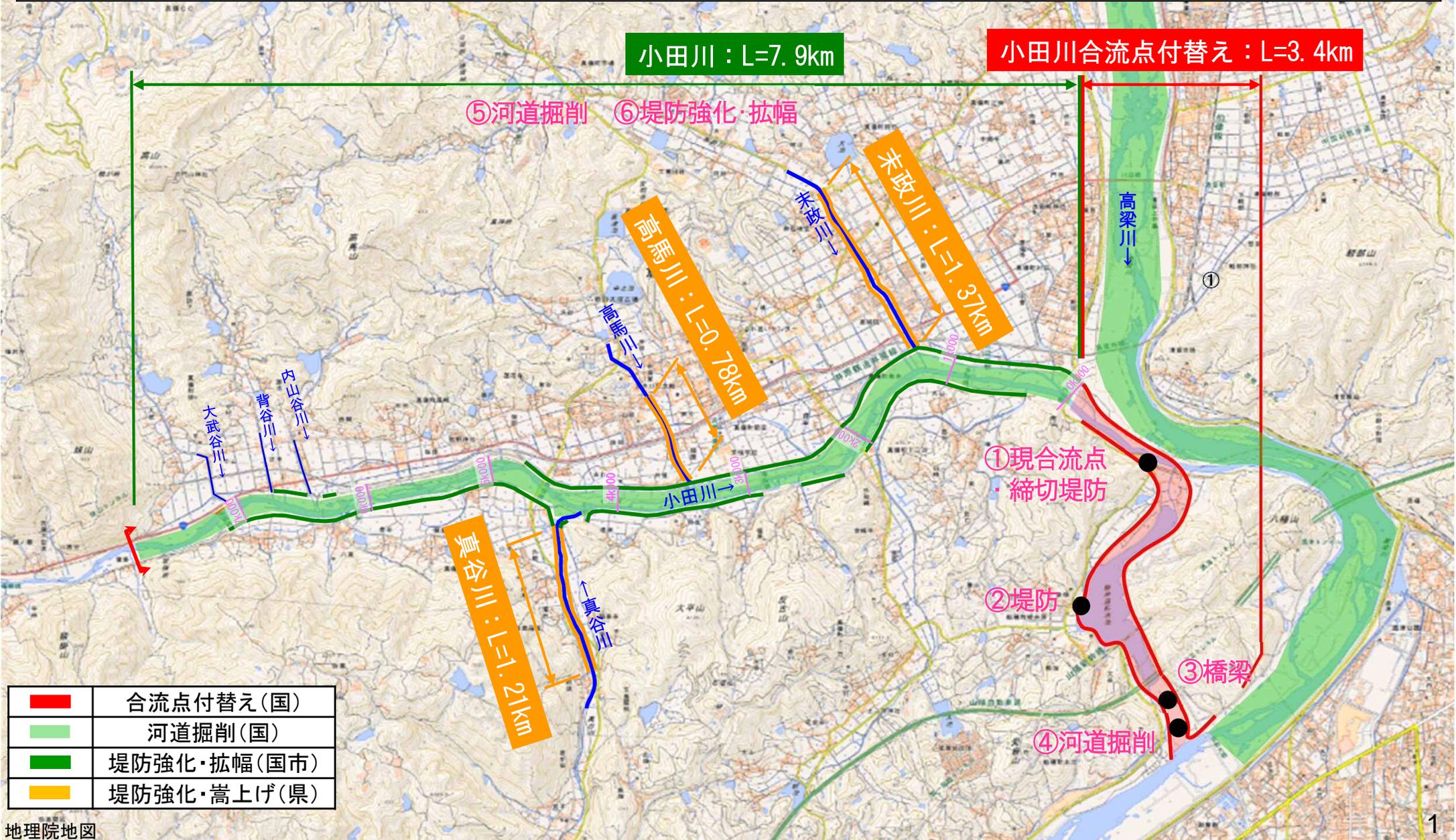
# 真備緊急治水対策プロジェクト 進捗状況について

令和5年9月

国土交通省 中国地方整備局  
高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

# 真備緊急治水対策プロジェクト(ハード対策)

■再度災害防止を図るため、小田川合流点付替え、国管理の小田川及び岡山県管理の末政川、高馬川、真谷川において、重点的な堤防整備（嵩上げ、断面拡大）と洪水時の水位を下げるための河道掘削を実施



# ①現合流点・締切堤防

■令和5年6月21日に南山掘削工事が完了し、付替後の県道を同日に供用開始しました。

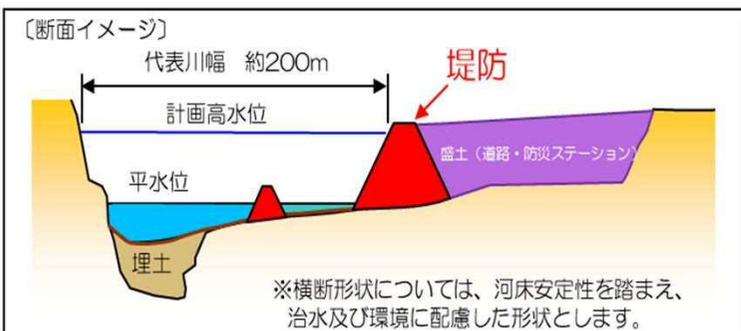


掘削工事の効率化のため、大型重機を採用



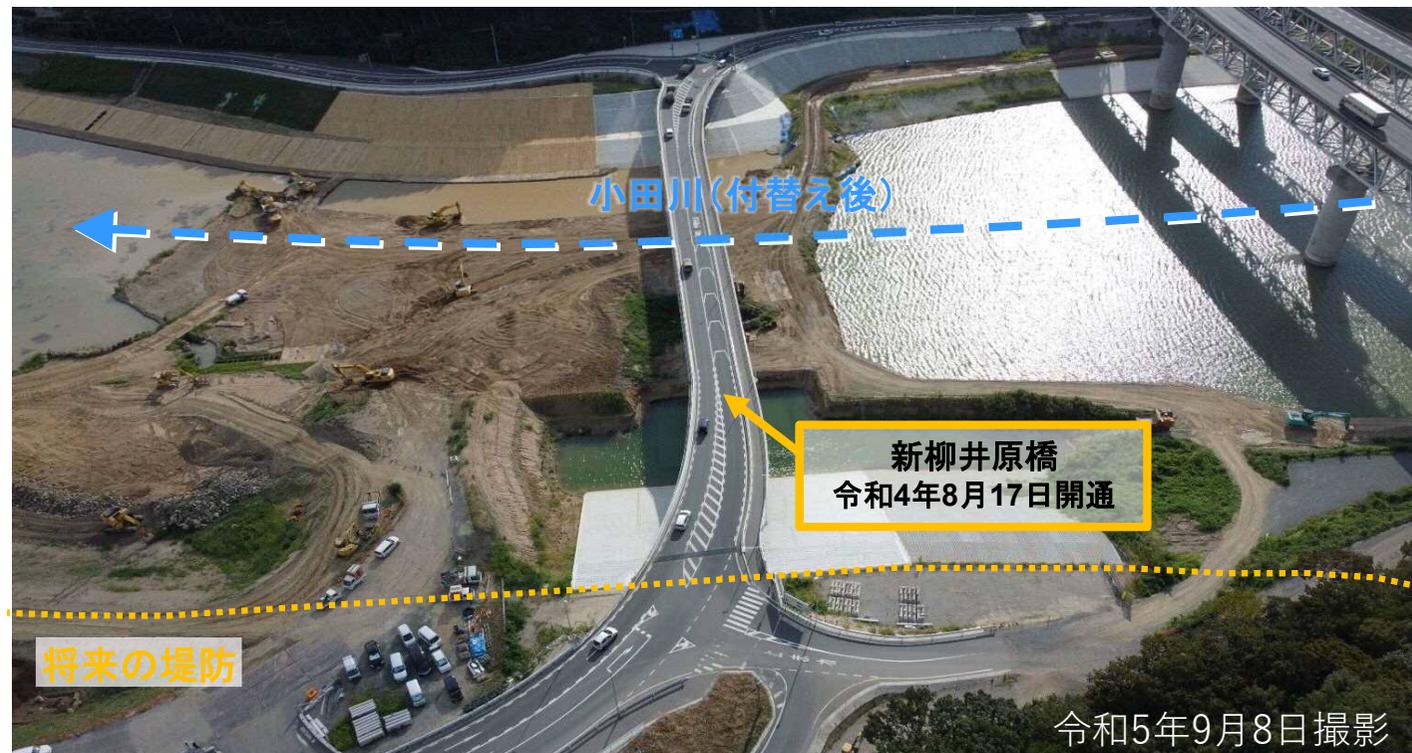
## ②堤防(柳井原貯水池)

- 付替え事業の掘削工事等で発生した土砂等を有効活用して堤防工事を順次実施
- 現在、親水堤防の盛土、河川防災ステーションの基盤、県道バイパス及び堤防天端道路の整備を実施中



# ③橋梁

- 令和4年8月17日に新柳井原橋として開通
- 小田川通水までに現在の下流横堤を掘削し河道化



# ④河道掘削(新合流点)

■河道掘削及び堤防整備等を実施中



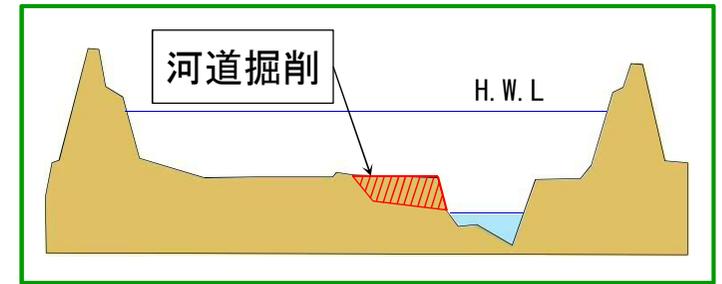
# ⑤小田川河道掘削(完了)

■小田川の河道断面を拡大するため、掘削を実施

⇒ 掘削期間 : 令和元年～令和3年6月10日

⇒ 掘削土砂量 : 308,000m<sup>3</sup>

掘削した土砂は小田川堤防強化工事等に活用



# ⑥小田川堤防強化

- 堤防断面の拡大等により、小田川堤防の弱体化を防ぐ
- 小田川等の河道掘削で発生する大量の土砂を有効活用し小田川の堤防を強化  
⇒ 事業期間：令和元年度～令和5年度（令和4年3月概成）

## 事業効果

- (1) 堤防断面拡大やドレーン設置により、洪水時に河川水や雨水が堤防に浸透し、堤防が弱体化することを防ぐ
- (2) 緊急車両の通行や排水ポンプ車の作業のためのスペース及び緊急時の避難路の確保を目的として、堤防断面の拡大を実施

## 堤防強化・拡幅の内容

- ①天端幅を約5m⇒7mに拡幅
- ②堤防の勾配を緩傾斜に(約3割勾配)
- ③必要に応じてドレーンを配置し浸透水を速やかに排水

